

大東市登録文化財

登録第1号 坐摩神社 本殿

ふこのみなみ かわちやみなみしんでん ひらのやしんでん
 深野南・河内屋南新田を管理する平野屋新田
 かいしよ
 会所の屋敷地内にあった神社で、享保13年(1728)ま
 でに平野屋又右衛門によって摂津国西成郡の総社
 いかすり かんじょう
 坐摩神社(大阪市中心部)から勧請されました。
 いっけんしやながれづくり もや こうはい こうりょう
 一間社流造の本殿(身舎・向拝)は虹梁などに刻まれ
 た渦巻き・若葉文様等から江戸時代後期のものと考え
 られ、近隣地域における寺社建築の年代判定の指標
 となる、貴重な建造物です。



坐摩神社 本殿

登録第2号 坐摩神社奉納資料

平野屋新田会所の屋敷地内に立地した坐摩神社の
 奉納資料です。寛延3年(1750)に寄進された2基一
 対の灯籠とうろうをはじめ、額や絵馬など、その種類や時期
 は多岐にわたります。寄進者は新田住民の他、平野
 屋新田会所所有者の高松家や高松家縁者のぜにやじょう
 銭屋浄じゆん
 順たちでした。

これらの奉納資料から、江戸時代中期から明治期に
 おける平野屋新田会所所有者や新田住民の信仰の
 有り様を知ることができます。



寛延3年に寄進された灯籠



奉納狂歌